

シトロエン C3 WRC、アルゼンチンで好機をつかめず

WRC 第5戦アルゼンチンは、シトロエン・トタル・アブダビ WRT にとって、あらゆる点で悔しさの残る週末となってしまいました。それでも、チームは自分たちのポテンシャルには確かな自信をつかんでおり、この先に待ちかまえるイベントにはこれまで以上に注力して優勝争いを視野に臨む構えです。

ラリーの展開

27 日木曜日夜、ラリーアルゼンチンは、コルドバの市街地を走るステージで幕を開けました。パルクフェルメで夜を明かした後、28 日の金曜日からは、各マシンは 8SS で構成される長い 1 日に向けて走り出しました。



クリス・ミック／ポール・ナゲル組は、ただちに首位争いに挑んでいきます。SS3 を終えた時点でミックの#7 シトロエン C3 WRC は総合 2 番手につけ、総合首位のライバルも 10 秒以内の差にとらえていました。しかし SS4、サンタ・ロサ・サン・アグスティンのステージで、ミックのマシンはバンプで跳ね上げられ、転倒を喫してしまいました。ミック／ナゲル組は SS4 を走り切りましたが、それまでに何分ものタイムをロスしてしまいました。また、クレイグ・グリーン／スコット・マーティン組も、このステージは徐行を余儀なくされる展開となりました。グリーンはミックと同じ場所のバンプで跳ね上げられ、その際の衝撃でギヤボックスがダメージを受けてしまい、5 速に入ったままとってしまったのです。

2 台のダメージは大きく、その後の SS を走り切ることが困難と判断され、ロードセクションで以後の続行を諦めざるを得ませんでした。ラリー2 規定を適用して翌日の再スタートを果たすため、シトロエン・レーシングのメカニックとエンジニアたちは、大掛かりな修復作業に取りかかることとなりました。

修復作業も無事に終わり、29 日土曜日、2 台のシトロエン C3 WRC はパルクフェルメを出発しました。しかし、メカニックがグリーンのマシンにオイル漏れを発見。エンジンへのダメージを避けるため、グリーンは大事を取ってデイ 2 の走行を取りやめることに。チームは、前日の衝撃でダメージを受けたパワートレインを取り外して交換。万全の状態競技最終日の再出走を目指します。一方のミックは、この日最初の SS でマシンが正常に動くことを確認すると、再びペースアップ。SS11、SS12 で 2 連続ステージウインを獲得しました。ところが、ミックは午後 1 時のループで再びコースオフを喫してしまいます。SS14 の高速セクションでバンクにヒットした C3 WRC は 8 回転。クルーは無事でしたが、この時、ミックのラリーは完全に終わりを告げることとなりました。

このため、日曜日をチームからスタートしたのは、クレイグ・グリーンのみとなりました。このラリー初参戦のグリーンは、独特な性格のイベントで経験を積んだ事に喜びを感じていました。SS15 のエルコンドル・コピナでは SS4 番手タイム、SS16 のミナクラベロ・ジュリオ・チェザレでは SS3 番手タイムをマークしたグリーンは、応用力の高さと成長の早さを示しました。しかし、規定を考慮してこの先のラリーに向けてスペアパーツの数を確保するために、最終サービスではリタイヤするを選択しました。



好ペースもリザルトには結びつかず

今回のリザルトは、これまでラリーアルゼンチンを10度制覇しているシトロエン・トタル・アブダビ WRT の期待には遠く及ばないものでした。「我々は目標、つまり勝利を達成するために何をしなければならないかを知っています」とシトロエン・レーシングのチーム代表、イブ・マトンはコメントを寄せました。

「クリスはベストタイムやセカンドベストタイムを連発し、シトロエン C3 WRC が十分なペースを持っていることを証明してくれました。同様に、クレイグも日曜日の激しい優勝争いのなかで好タイムをマークしてくれたことも、C3 WRC のポテンシャルを示してくれています。残念ながら我々は、そのペースを結果につなげることは果たせませんでした。シーズン開幕以来、厳しい展開が続いていますが、我々は諦めずに懸命な取り組みを続けます。自分たちの努力が、徐々に報われ始めていると確信しているからです。我々のアプローチはこれまで同様、アグレッシブにラリーでの勝利を狙っていきます。そのためには、相応のリスクも惜しみません」



この週末、メカニック陣営の見せた奮闘は、ポジティブな要素の筆頭に挙げられるでしょう。金曜日にコースオフしたミックの C3 WRC を修復するために、赤い軍団のテクニカルチームは、抜群の技量を見せました。

「我々のメカニックたちは間違いなく、ここ15年で最高のラリーチームになっています」とイブ・マトンは強調します。「彼らは寡黙にマシンの修復に取り組んで完璧なコンディションに仕上げ、土曜日はクリスが2度のステージウィンをマークしました。それだけに、彼らの忠実な必死の取り組みが、もっと大きなかたちで報われなかったことを心苦しく思います。ラリー2規定で再スタートさせたマシンを再び失うのは、残念なものです」

次は第6戦ポルトガル

チームは南米から戻り、すぐに今後に向けたラリーの準備を始めることとなります。イタリアで予定されているテストは、ラリーポルトガルとラリーイタリア・サルディニアへの準備の一環です。次戦(5月18-21日)は、クリス・ミック/ポール・ナゲル組、クレイグ・グリーン/スコット・マーティン組、ステファン・ルフェーブル/ギャビン・モロー組、ハリ・アル・カシミ/クリス・パターソン組という4台のシトロエン C3 WRC がエントリーします。

世界ラリー選手権(WRC) 第5戦ラリーアルゼンチン 最終結果

1.	ティエリー・ヌービル/ニコラス・ジルスール	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	3:38:10.6
2.	エルフィン・エバンス/ダニエル・パリット	フォード・フィエスタ WRC	+0.7
3.	オット・タナク/マルティン・ヤルベオヤ	フォード・フィエスタ WRC	+29.9
4.	セバスチャン・オジエ/ジュリアン・イングラシア	フォード・フィエスタ WRC	+1:24.7
5.	ヤリ・マティ・ラトバラ/ミーカ・アンティラ	トヨタ・ヤリス WRC	+1:48.1
6.	ヘイデン・パッドン/ジョン・ケナード	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	+7:42.7
7.	ユホ・ハンニネン/カイ・リンドストローム	トヨタ・ヤリス WRC	+11:16.9
8.	ダニ・ソルド/マルク・マルティ	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	+14:44.1
9.	マッズ・オストベルグ/オーラ・フローネ	フォード・フィエスタ WRC	+15:11.3
10.	ポンタス・ティデマンド/ヨナス・アンダーソン	シュコダ・ファビア R5	+17:32.1
R.	クリス・ミック/ポール・ナゲル 	シトロエン C3 WRC	コースオフ
R.	クレイグ・グリーン/スコット・マーティン 	シトロエン C3 WRC	メカニカル

WRC マニファクチャラーズ選手権 ポイントスタンディングス

1.	M スポーツ・ワールドラリーチーム	162
2.	ヒュンダイ・モータースポーツ	140
3.	トヨタ・ガズーレーシング WRT	102
4.	シトロエン・トタル・アブダビ WRT 	73